

まつもと市議会だより



ゴール直前、最後の坂を駆け上がる！
ツール・ド・美ヶ原高原自転車レース大会 2026 (6月28日開催)

contents

② 特集 議会人事 委員会など新体制に

④ 6月定例会

概要…4

委員会審査等の結果から…5

審議結果…6

一般質問…7

⑮ 活動レポート
令和7年度 政務活動費の収支状況

⑯ 議員が聞く！キラリ★輝く市民にインタビュー！
編集後記 ほか

特集 議会人事 委員会など新体制に

5月15日の第1回臨時会において、常任委員、議会運営委員および議会基本条例推進組織部会員の選任が行われました（任期はいずれも令和9年4月の議員任期満了まで）。

常任委員会

◎：委員長 ○：副委員長

総務委員会

【担当する市の仕事の範囲】

総合戦略局、総務部、財政部、危機管理部、会計課、選挙管理委員会、監査委員の所管に属する事項、他の委員会に属さない事項



塩原孝子 芝山稔 中島昌子 花村恵子
阿部功祐 ◎近藤晴彦 ○和久井悟 太田更三

厚生委員会

【担当する市の仕事の範囲】

健康福祉部、こども若者部、福祉事務所、病院局の所管に属する事項



大久保美由紀 川久保文良 宇留賀響
犬飼明美 ◎土屋眞一 ○太田正徳 神津ゆかり

経済文教委員会

【担当する市の仕事の範囲】

住民自治局、産業振興部、文化観光部、スポーツ部、教育委員会、農業委員会の所管に属する事項



今井ゆうすけ 内田麻美 宗田まゆ美 西澤郁弥
吉村幸代 ◎横内裕治 ○中山英子 村上幸雄

建設環境委員会

【担当する市の仕事の範囲】

環境エネルギー部、交通部、建設部、上下水道局の所管に属する事項



犬飼信雄 こば陽子 上條美智子 上條一正
上條温 ◎牛丸仁志 ○菊地徹

議会運営委員会

議会を円滑に運営するために、議会運営について協議し、意見等の調整を図るために設けられている常設の委員会です。

◎：委員長 ○：副委員長

菊地 徹	太田 正徳	横内 裕治	牛丸 仁志	塩原 孝子
土屋 眞一	◎中島 昌子	芝山 稔	◎太田 更三	近藤 晴彦

特別委員会

特別委員会の任期は、議員任期が満了するまで又は所管事項の業務が終了するまでとなっており、引き続き下記の委員会が設置されています。

◎：委員長 ○：副委員長

市役所新庁舎建設特別委員会			市立病院建設特別委員会		
中山 英子	宇留賀 響	菊地 徹	宗田まゆ美	こば 陽子	和久井 悟
太田 正徳	大久保美由紀	西澤 郁弥	花村 恵子	内田 麻美	横内 裕治
神津ゆかり	○上條 一正	川久保文良	牛丸 仁志	塩原 孝子	○土屋 眞一
上條 温	中島 昌子	◎犬飼 信雄	吉村 幸代	今井ゆうすけ	◎上條美智子
犬飼 明美	太田 更三	近藤 晴彦	村上 幸雄	阿部 功祐	芝山 稔

議会基本条例施策推進組織（部会）

松本市議会基本条例の施策を推進する組織として、3つの部会が設置されています。議員はいずれか1つの部会に所属して、「身近な議会」「行動する議会」の実現のために活動しています。

◎：部会長 ○：副部会長

政策部会	広報部会	交流部会
担当すること ・政策提案、政策提言 ・議会運営 ・議会の機能強化	担当すること ・情報発信 ・議会だよりの発行	担当すること ・市民交流（議会報告会） ・議会交流
○西澤 郁弥 横内 裕治 牛丸 仁志 上條美智子 上條 温 犬飼 信雄 阿部 功祐 芝山 稔 ◎犬飼 明美 太田 更三	○宗田まゆ美 宇留賀 響 菊地 徹 太田 正徳 大久保美由紀 花村 恵子 吉村 幸代 今井ゆうすけ ◎中島 昌子 近藤 晴彦	中山 英子 ○こば 陽子 和久井 悟 神津ゆかり ◎内田 麻美 上條 一正 塩原 孝子 土屋 眞一 川久保文良 村上 幸雄

会 派

○：代表

誠の会	政友会	開明	松本市議会 公 明 党	まつも都	日本共産党 松本市議団
中山 英子 宇留賀 響 土屋 眞一 今井ゆうすけ 犬飼 信雄 阿部 功祐 ○太田 更三	こば 陽子 太田 正徳 和久井 悟 西澤 郁弥 ○牛丸 仁志 村上 幸雄 中島 昌子	菊地 徹 吉村 幸代 川久保文良 上條 温 ○芝山 稔	大久保美由紀 内田 麻美 上條美智子 ○近藤 晴彦	花村 恵子 神津ゆかり 上條 一正 ○横内 裕治	宗田まゆ美 ○塩原 孝子 犬飼 明美

第1回
臨時会
5月15日(金)

市長から提出された10件の議案を原案どおり可決、承認し、諮問1件について異議のない旨答申しました。



総：総務委員会 厚：厚生委員会 経：経済文教委員会 建：建設環境委員会 議案と議決結果 各議員の賛否

契約

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
1	工事請負契約の締結について（令和7年度市道1059号線高質化工事）の議決更正について	総	可決	可決
2	工事請負契約の締結について（令和7年度市道沢渡2号線湯川1号橋上部工工事）の議決更正について	総		

財産

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
3	市有財産の取得について（大型気化熱冷風機）	経	可決	可決
4	市有財産の譲渡について（五常集落生活環境施設）	建		

報告

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
報1	松本市市税条例の一部を改正する条例について	総	承認	承認
報2	松本市国民健康保険税条例等の一部を改正する条例について	厚		
報3	令和7年度松本市一般会計補正予算（第10号）	4 常任		
報4	令和7年度松本市市街地駐車場事業特別会計補正予算（第2号）	経		
報5	令和7年度松本市奈川観光施設事業特別会計補正予算（第3号）	総		
報6	工事請負契約の締結について（令和7年度田川第一雨水幹線新設その1工事）の議決更正について	総		

諮問

	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
諮問	下水道使用料徴収処分等に係る審査請求について	建	異議のない旨 答申	異議のない旨 答申

オーストリア・ザルツブルク州との交流に関する覚書締結のための予算を含む令和 8 年度松本市一般会計補正予算などを可決

令和 8 年 6 月

定例会

6 月 8 日～6 月 25 日
(会期 18 日間)

今定例会では、市長から提出された議案 13 件のほか、人事 1 件、請願 1 件、議会案 2 件を審議し、それぞれ議決しました。

▶委員会審査の結果は P5、審議結果の一覧は P6、一般質問は P7～14 をご覧ください。

こんなことが決まりました！

オーストリア・ザルツブルク州との幅広い交流に関する覚書締結へ 関係経費を可決

議案第 13 号 令和 8 年度松本市一般会計補正予算（第 2 号）【国際交流推進費追加】



オーストリア共和国ザルツブルク州と今後の交流に関する覚書を締結するため、ザルツブルク音楽祭の開催に合せて訪問するものです。

覚書は、これまで築いてきた協力関係を基盤とした交流のさらなる促進と、文化と自然の価値ある資源を生かし、双方の地域振興に向けて緊密な関係を築くことを目的に締結するもので、特に音楽・芸術・観光の分野で協力を深めていくこととしています。

部活動地域展開に向けた中学校のテニスコート、吹奏楽器の維持管理のための経費を可決

議案第 6 号 令和 8 年度松本市一般会計補正予算（第 1 号）【部活動地域展開事業費】

部活動地域展開後に学校活動で使用しない中学校のテニスコートや吹奏楽器の維持管理方針を決定するため、実証事業を行うものです。

テニスコート

市内中学校のうちモデル校で外部委託によるコート整備の有用性を実証

吹奏楽器

専門業者による維持管理方法の有用性を実証。併せて、使用する生徒への楽器のメンテナンス講座を開催し、修繕コストの削減や長寿命化を図る。



人 事

右記の人事案件について、同意しました。

■農業委員会委員／はしもと しげいち 橋本 茂一 氏

可決

議会案

実現に向けて国会や関係行政庁に意見書を送付しました。

→詳細については、市議会ホームページで
ご覧いただけます。



さらなる少人数学級推進及び教職員定数改善のための 教育予算確保並びに義務教育費国庫負担制度の 堅持・拡充を求める意見書

地方自治体が計画的に教育行政を進めることができ
るよう、次の事項について国に求めるもの

- 1 すべての子どもに行き届いた教育を実現するため、さらなる少人数学級を推進すること、複式学級の編制基準を引き下げることなどを中心に義務標準法の改正を行うこと。
- 2 自治体の実効性のある働き方改革施策を推進するために必要な予算措置を行うこと。
- 3 教育の機会均等とその水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度を堅持し、拡充すること。

上下水道事業の老朽化対策・耐震化と 経営基盤強化に向けた支援を求める意見書

上下水道事業は、老朽施設の更新や耐震化、技術職員の確保に加え、人口減少に伴う料金収入の減少や物価高騰等により、経営環境は一層厳しさを増していることから、次の事項について国に求めるもの

- 1 上下水道施設の老朽化対策および耐震化に対する補助要件の緩和および予算の必要額の確保
- 2 専門的業務を担う技術職員の確保、育成および技術継承への支援
- 3 広域化・広域連携に関する研究への支援の充実、補助事業の時限の撤廃又は延長および補助率の拡充

委員会審査等の結果から

市長から提出された議案は、それぞれ所管の委員会で審査し、その審査結果を参考に本会議で議決します。今定例会の委員会では、議案の審査のほかに、請願、陳情を審査しています。また、併せて委員協議会を開催し、市政の懸案事項について協議し、報告を受けています。ここではその一部をお伝えします。

可決

議案第 1 号

総務委員会

松本市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の一部を改正する条例

国が整備を進めている公的基礎情報データベース「ベース・レジストリ」について、自治体のデータ利用が 6 月から本格的にスタートすることから、申請等における添付書類の省略や、手続きのオンライン化に関する規定を整備、追加するものです。

こんな質問が出ました

Q 市がベース・レジストリの利用を開始することで市民の利便性は良くなるのか。

A 今まで申請等の手続きで必要としていた証明書の添付が不要となることから、法務局で証明書を取得する手間がなくなり、取得手数料も不要となる。

Q ベース・レジストリに含まれている情報はどのようなものか。

A 登記簿謄本などの公的情報を国がデータベース化したもの。

※ベース・レジストリ

公的機関等で登録・公開され、さまざまな場面で参照される、人、法人、土地、建物、資格等の社会基本データであり、正確性や最新性が担保された社会の基幹となるデータベース

承認

報告事項

厚生委員協議会

フレイル予防に関する医療連携協定の締結について

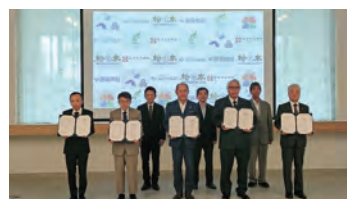
丸の内病院・市立病院・藤森病院、信州大学医学部と協定を締結し、フレイルの早期発見・介入と科学的根拠に基づく地域の予防対策等を推進することについて報告するものです。

こんな質問が出ました

Q フレイル予防事業を推進していく中で、協定締結により関係機関が年間を通じてどのように連携し、具体的にどのような取組みを進めるのか。

A これまでも、市とフレイル外来医療機関、信州大学医学部との連携は既に行っており、今回の協定はその内容を明文化し、さらに深化させるものである。

今後は、市の健診やフレイル外来の受診データを、個人が特定されない形で信州大学医学部に集約して分析し、連携会議において具体的な進め方を協議し、より効果的な支援等につなげていく。フレイル予防に関する医療連携協定締結式（7月1日）



可決

議案第 6 号

経済文教委員会

令和 8 年度 松本市一般会計補正予算（第 1 号） 【観光危機管理体制整備事業】

旅行者などが多言語の災害情報等を入手できるように、松本駅東西自由通路にデジタルサイネージを設置するものです。

こんな質問等が出ました

Q 発信する情報はどのようなものを検討しているか。

A 災害情報は全国瞬時警報システム（Jアラート）と連携するとともに、大規模な災害が発生した際などは、文化観光部と危機管理部が連携して必要な情報を発信していく。また、災害情報のほかにも、普段は観光情報等を発信していく予定である。

要望 緊急時に発信する情報ほど正確さや速さが求められるため、発信方法について市で研究しながら進めてほしい。



デジタルサイネージのイメージ

可決

議案第 6 号

建設環境委員会

令和 8 年度 松本市一般会計補正予算（第 1 号） 【中心市街地人流調査分析事業】

交通政策の立案・推進のため、AI カメラによる人流・交通量の計測および属性分析を実施するものです。

こんな質問が出ました

Q 中心市街地の主要な箇所に AI カメラを設置することだが、システムのセキュリティ対策はどのようにするのか。

A 映像をデータセンターへアップロードするが、個人を特定する情報は取得しない。年代、性別の属性まで判定したら、映像は即時削除される。

プロポーザルに参加する業者へは、相互通信の暗号化を仕様書に明記することや ISMS 等の認証の取得を参加要件とすることにより、セキュリティに十分配慮できる事業者を選定できる制度設計としている。

【システムイメージ】



人流分析



交通分析



データ出力

審 議 結 果

詳細は市議会ホームページでご覧いただけます。



総：総務委員会 厚：厚生委員会 経：経済文教委員会 建：建設環境委員会

：賛否の分かれた議案など

条例

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
1	松本市情報通信技術を活用した行政の推進等に関する条例の一部を改正する条例	総		可決
2	松本市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	経		
3	松本市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	総		
4	松本市介護老人保健施設条例の一部を改正する条例	厚		
5	松本市体育施設の設置管理等に関する条例の一部を改正する条例	経		

予算

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
6	令和8年度松本市一般会計補正予算（第1号）	総務 経済文教 建設環境	可決	可決
13	令和8年度松本市一般会計補正予算（第2号）	総		

契約

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
7	工事請負契約の締結について（（仮称）山田地区クラインガルテン造成等工事）	総		可決
8	令和8年度史跡松本城堀浚渫業務委託に関する契約の締結について	総		
9	工事請負契約の締結について（令和7年度市道7553号線月見橋下部工工事）の議決更正について	総		
10	工事請負契約の締結について（令和7年度松本市波田中央運動広場建設工事）の議決更正について	総		

財産

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
11	市有財産の取得について（総合体育館観覧席）	経	可決	可決

その他

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
12	道路事故に関する和解について	建	可決	可決

人事

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
14	農業委員会委員の任命について	—	—	同意

請願

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
請3	「さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める請願書	経	採択	採択

陳情

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		回付 委員会	審査 結果	
陳1	公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情	経	趣旨採択	—

議会案

議案 番号	件 名	委員会審査		議決 結果
		付託 委員会	審査 結果	
議5	さらなる少人数学級推進及び教職員定数改善のための教育予算確保並びに義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書	—	—	可決
議6	上下水道事業の老朽化対策・耐震化と経営基盤強化に向けた支援を求める意見書	—	—	

賛 否 の 分 か れ た 議 案 な ど

○：賛成 ×：反対 議：議長（※議長は表決には加わりません。） —：不在

議案 番号	会派名 議員名	誠の会						政友会						開明					松本市議会 公明党				まつも都				日本共産党 松本市議団				
		中山 英子	宇留賀 響	土屋 眞一	今井ゆうすけ	犬飼 信雄	阿部 功祐	太田 更三	こば 陽子	太田 正徳	和久井 悟	西澤 郁弥	牛丸 仁志	村上 幸雄	中島 昌子	菊地 徹	吉村 幸代	川久保文良	上條 温	芝山 稔	大久保美由紀	内田 麻美	上條美智子	近藤 晴彦	花村 恵子	神津ゆかり	上條 一正	横内 裕治	宗田まゆ美	塩原 孝子	犬飼 明美
8		○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	—	—	○	×	×	×

「ここが聞きたい!!」
一般質問



本会議では、議員が市民の代表として市の政策などに対する質問を行っています。
6月定例会では、23人の議員が一般質問を行い、3日間にわたり活発な議論を展開しました。
ここでは、一議員につき一項目の質問と答弁の要旨を掲載しています。

各議員の一般質問の録画映像を松本市議会ホームページで見ることができます。
二次元コードからアクセスしてください。



A **市長** 脱炭素社会の実現は、世界共通の目標であり、持続可能な都市の基盤であるという認識の下、本市では、「気候非常事態宣言」をはじめ、「ゼロカーボン実現条例」の制定や「ゼロカーボン実現計画」の策定など、脱炭素社会実現に向けた取り組みを進めてきた。世界的にはゼロカーボンを推進する機運が揺らいでいる状況も見られるが、本市が先頭に立つて進めていくべきと考える。今後5年間は具体的な行動を展開する段階と位置づけ、「市民アクションプラン推進パッケージ1・0」を実行し、市民・事業者のみなさんとともに、ゼロカーボンの推進を新たな市民運動として、定着・展開していきたい。

Q 「ゼロカーボン」を基本構想2030における重点戦略の一つに掲げているが、市政における環境政策推進の現在と今後の位置づけについて、市長の見解と展望を伺う。

環境政策の推進

質問項目

■自然と共に生きる松本



開明
きくち
菊地
とある
徹



A **教育長** 「小学校低学年25人規模にこにこ学級編制事業」は、1学級を20〜30人規模にするものだが、1学年が35人以内の場合は、従来の1学級25〜35人の方針に則り1学級となる。これは、この人数で2学級にすると、1学級の人数が県の目指す1学級20〜30人を下回り、子どもたちが多様な考えに触れることが難しくなるからではないかと考える。しかし、実際に30人を超える学級があり、事業の一貫性のない点に疑問の声があるため、県に適正人数の考え方を十分周知するよう要請している。

Q 今年度、県教育委員会が公立小学校1年生に「25人規模学級」を導入したが、市内3校で上限30人を超えており、特に並柳小学校は、従来の上限の35人である。36人いれば2学級、35人であれば1学級に詰め込むという不均衡について、教育長はどのように考えているか。

公立小学校1年生の不均衡な学級編成

質問項目

■メディア・リテラシー
■資源循環型社会を目指して
■大切な義務教育



開明
よしむら
吉村
さちよ
幸代





開明
川久保 文良
かわくぼ ふみよし



質問項目

- 危機管理について
- 農政について

クマ出没时间の市民への情報発信

Q 6月8日の和田・新村地区でのクマ出没时间では、注意喚起の防災行政無線放送が市公式LINEや松本安心ネットの配信より1時間程度遅れたが、その理由と今後の対応は。

A 危機管理部長 SNSやメール配信は、平日や夜間・休日問わず即時に配信ができるインターネットによる通信手段である。一方で、防災行政無線は市役所などの機器設置場所での作業や操作が必要となる。特に夜間・

休日は職員が登庁する時間も要するため、インターネット配信と時間などに差異が生じるのが実情である。インターネット配信は、緊急情報を迅速に届ける最適なツールであることから、引き続き、市公式LINEや松本安心ネットを日ごろから活用いただくよう市民周知を図る。加えて、防災行政無線の放送に要する時間短縮に努めるとともに、遠隔操作が可能なシステムの導入を検討する。



まつもと
横内 裕治
よこうち ゆうじ



質問項目

- 労働行政について

若年無業者対策への取り組み

Q 若年者に占める無業者の割合が増加傾向にあるが、若年無業者の問題をどのように捉え、どう対応していくのか。特に労働行政としての取り組みについて伺いたい。

A 産業振興部長 本市では、転職に関する

こと、職場での人間関係や仕事のミスマッチに関する悩みなどに対応した相談事業「若者職業なんでも相談」を実施している。若者が仕事につかない理由はさまざまであり、就労につなげるためには、相談だけでなく、社会とのつながりを取り戻す支援、職場の人間関係を整える支援、第三者による伴走支援など総合的な支援が必要だと考える。公的支援機関と連携し、相談事業の充実、働きやすい職場環境整備の推進や柔軟に働ける仕組みづくりなど、独自施策を検討し、積極的に取り組んでいく。



まつもと
花村 恵子
はなむら けいこ



質問項目

- 松本市制120年へ足元を見つめる

まちづくりの核の一つに「民藝」を

Q まちづくりの核の一つとして、「民藝」をもっと打ち出してほしい。松本市民芸館の他に、松本市美術館に三代澤本寿作品をはじめとした民藝作品のコーナーを設けることはできないか。

A 文化観光部長 これまで美術館では民藝をテーマとした企画展を開催する

など、その魅力の発信に努めてきた。美術館は、特定の作家やジャンルに展示スペースを固定せず、多様な収蔵作品を活用した柔軟な展示を行う方針であるため、民藝コーナーの設置については、今後の美術館全体の展示の在り方の中で検討する。なお、過去に三代澤作品の常設展示を検討した経過があるが、展示に必要な一定数のコレクションを収蔵するスペースがないことから困難であるとの判断に至った。一方で、博物館には受入れの余地があるため、博物館常設展の更新を視野に入れながら、民藝の歴史や魅力を市民や来訪者に広く伝える手法を研究していく。



まつもと
かみじょう
上條 一正



質問項目

■住民自治力（一斉清掃を通してその2）

草刈り・河川清掃・一斉清掃等の在り方

Q 市の堤防の草刈りと町会等の河川清掃・一斉清掃が混在する現状を整理し、建設部が行うことを検討してはどうか。また、公園等の草刈りが負担増となっているため、町会への報償費の見直しを行ってほしい。そのほか、特定外来種の駆除について、市民の愛護活動として啓発を図るべきだと考えるが、見解は。

A

建設部長 河川内の草刈りや清掃は、河川管理者の役割や各種団体それぞれの立場があり、すべてを建設部で行うことは困難。しかし、1級河川で重複している箇所については調整を図り、その他の河川の堤防道路においても、交通の支障がある場合は建設部で対応する。公園管理への報償費については、費用の見直しを図る。

A

環境エネルギー部長 特定外来種の駆除は、市職員自らが活動する姿勢を示すことに加え、市民の皆様に自発的に協力いただけるよう、現状の周知、啓発活動に努めていく。



まつもと
こうづ
神津 ゆかり



質問項目

■松本の水と環境
■文化薫るアルプスの城下町のまちづくりと継承

松本の水と環境

Q ①公共用水域、地下水、市の管理する井戸のPFAS^{※4}の検査状況と公開状況は。②上下水道のPFASの検査体制・検査状況および公表状況は。③環境省「PFOS等含有泡消火剤在庫量調査マニュアル」の公開を受けた取組み状況は。

A

環境エネルギー部長 ①河川、地下水^{※5}いづれも指針値の10分の1以下の値で、結果をホームページで公開予定。まつもと城下町湧水群のうち、市が管理する井戸については今年度から従来の検査項目にPFOS、PFOAを追加して測定し、結果を井戸へ掲示、ホームページで公開予定。③環境省のマニュアルに沿って、市内の在庫量調査を行う。

A

上下水道局長 ②今年度は業務委託により検査を実施。次年度以降は分析器を購入し、職員直営で検査を行う予定。結果はすべての地点で定量下限値未満で、ホームページで公表済み。下水道の検査は行っていない。



まづの会
うりあが
宇留賀 響



質問項目

■エネルギー・原材料価格等の高騰について

指定ごみ袋の供給が逼迫した場合の対策は

Q 中東情勢の影響を受け、指定ごみ袋の供給に対して不安が広がっている。県内では、指定ごみ袋以外の使用を認める動きがあるが、さらに供給が逼迫する事態となった場合、本市ではどのような対応を想定しているか。

A

環境エネルギー部長 製造業者とはこまめに連絡を取り合い、指定ごみ袋の製造状況や小売店への納品状況には問題がないことを確認しており、現状では対策不要と判断している。今後、さらなる原油やナフサ不足により、指定ごみ袋の製造量が減り、在庫が枯渇してしまうなど、指定ごみ袋の入手が困難になることが想定される場合には、他の種類の指定ごみ袋、透明・半透明の袋を使用するなどの対策を考えている。そうした事態が見込まれる場合には柔軟に対応していく。

※4 PFAS 有機フッ素化合物のうち、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物を総称して「PFAS」と呼び、1万種類以上の物資があるとされている。PFOS、PFOAはその代表的なもの
※5 指針値 PFOSとPFOAの合算で1Lあたり50ng（0.00005mg）までとしている



誠の会
中山 英子
なかやま えいこ



質問項目

■ 受け継ぐべき松本の資源を、競争力と共生力に

水資源を守るため土葬の禁止を

Q 上流域に位置する本市が、守り受け継がれてきた水資源を将来へ引き継ぐことは重要な責務である。令和7年12月定例会でも水資源を守る観点から、土葬を禁じ火葬を原則とする条例の検討を求めた。その後行われた国の土葬墓地に関する実態調査に、市はどのように回答したか。また、本市の現行制度には土葬を止める明確な強制力がないことから、市の責任において担保を示すべきと考えるが、見解は。

A

保健所長 新たに墓地を設置する場合の許可基準や土葬に関する規定に関する質問については、条例で定める基準や、土葬を原則として禁止する規定はないことを回答した。市としては、現行の規制により、墓地に関わる公衆衛生上の問題発生の可能性は極めて低いと考えている。今後も国の動向等を注視しながら、現行規制の適切な運用に努めていく。



誠の会
土屋 眞一
つちや しんいち



質問項目

■ 青少年支援の取り組みについて
■ 児童生徒における自転車への安全対策について

小中学校での自転車安全指導

Q 小学校ではどのような自転車安全指導を行っているか。また部活動の地域展開に伴い、中学生に対する自転車安全指導はどのようにしていくのか。

A

教育監 小学校低学年の自転車利用については保護者の付き添いが必要とするなど一定の決まりを設けているが、自転車保有していない児童、乗れない児童もいるため、自転車教室は多くの学校で実施していない。高学年には座学中心の自転車教室を行っているが、行動範囲が広がり、自転車利用の機会も増えるため、地元の交通安全協会等と連携し安全な乗り方を学習する機会を研究する。中学校では、昨年度、筑摩野中学校をモデル校として、外部講師による正しい自転車の乗り方指導、業者による自転車点検を含めた自転車教室を実施した。令和9年度からの平日部活動の地域展開に向け、モデル校の実証を参考に、実践的な自転車教室の実施を広げていく。



誠の会
今井 ゆうすけ
いまい ゆうすけ



質問項目

■ 危機管理
■ 防犯・消費者保護
■ 情報リテラシーの向上(デジタルシティズンシップ)

防犯・消費者保護の強化を

Q 近年巧妙化する詐欺や悪質商法に対応し、被害者の実情を踏まえながら支援の在り方を検討していく必要があると考える。防犯・消費者保護の今後の取組みについて市長の見解は。

A

市長 A-1を使った手口、手法の巧妙化や情報伝達手段の進化により、新たな犯罪グループ、仕組みが出現している中で、防犯と消費者保護とが表裏一体になってきていることを改めて認識しなければならぬと受け止めている。犯罪に近い事案などによる市民の皆さんの金銭的被害を、行政の立場でどのように未然に抑止するのかということに向き合っていないかなければならない。一方で、基礎自治体である本市が情報面、あるいは人員面でできることには限界があるため、警察との緊密な連携協力体制を構築し、広報周知と未然防止に力を入れるべき行政と、犯罪を取り締まる警察とで、こうした事態に向かっていく必要があると考える。



松本市議会公明党
おおくぼ まゆき
大久保 美由紀



質問項目

■コミュニティFMを活用した災害時の情報伝達について

※6 コミュニティFMとの連携

Q 市民の命を守る情報インフラとして、地域コミュニティ造成において重要な役割を果たすコミュニティFMに、市として今後どのように関わめるのか。

A 市長 市としては、新たな経営体制の下でFMまつもとが前向きな一歩を踏み出す段階にきていると認識している。FMまつもととは、昨年来、総合戦略室を中心に協議を重ね、災害時の情報伝達にとどまらず、幅広いテーマで意見を交わしてきた。放送部の高校生と連携して若者や市民に開かれた放送局づくりなどに取り組み、企業のブランドイメージを再構築して経営改善を図っているとの報告も受けている。災害時の確実な情報伝達に向けて具体的な支援のあり方を検討するとともに、地域に密着した情報をきめ細かく発信できるコミュニティFMの特色を生かして、多様な課題解決に向けた連携を速やかに進める。



松本市議会公明党
うちだ あさみ
内田 麻美



質問項目

■吃音について

吃音に関する教職員への研修

Q 県内他自治体では、教職員を対象とした吃音に関する研修会を開催しているところがあると聞く。教職員が吃音に対する正しい認識を持ち、適切な対応をすることが、吃音のある児童・生徒にとって大切であると考え、教職員を対象とした研修の取組み状況について伺う。

A 教育監 今年度、教職員対象の吃音に特化した研修会の開催予定はないが、吃音のある児童・生徒が在籍する学校からの要請に応じ、全職員や学年職員を対象とした研修を個別に実施している。現場のニーズに応じた研修は極めて実効性が高く、参加者からは今後の指導の参考になったとの声があった。吃音のある児童・生徒への正しい理解と必要な支援をさらに促すため、今後の特別支援教育コーディネーター連絡会で、吃音支援に関する内容や、「通級による指導ハンドブック」の活用等、周知を図っていく。



松本市議会公明党
かみじょう まみよこ
上條 美智子



質問項目

■ラーケーションについて ■水泳の授業について ■障がい者スポーツ支援について ■水辺環境について

※7 ラーケーションの導入を

Q ラーケーションの導入は、平日に学校を休ませる保護者の心理的負担を解消し、観光地の混雑分散にも寄与する。また、こうした機会の選択ができれば、より充実した親子関係が築けると思うが、本市において導入する考えはあるか。

A 教育長 小中学生は保護者との結び付きが強いことから、小中学校での導入は意義があると考えている。熊本市では、ラーケーションで示されている体験学習や探究的な学び等に限定せず、理由を問わず休むことができる「こどもの平日休み」制度を導入している。他自治体における施策の情報を収集し、松本の子どもたちにとってどのような制度が最適であるか研究しながら、モデル的な試行の実施も含め導入に向けて検討を進める。

※6 コミュニティFM 地域の活性化等に寄与することを目的として、FM放送により、市区町村の一部の区域において、地域の話題や行政、観光、交通等の地域の需要に応えたきめ細かな情報等を提供する地域密着型メディアとして平成4年1月に制度化されたもの。松本市では、FMまつもとが平成25年12月に開局している

※7 ラーケーション ラーニング（学習）とパケーション（休暇）を組み合わせた造語で、保護者の休日に合わせて子どもが平日に休み、学校外での活動や旅行などを通じて主体的な学びを得るための制度



松本市議会公明党
近藤 晴彦
こんどう はるひこ



質問項目

- 行政施設の維持管理について
- 行政施設の危機管理について

行政施設内の什器類の地震対策

多くの市民が利用する行政施設に設置されている什器類について、早急に全職場を総点検し、地震対策に必要な対応を実施すべきと考えるが、市の見解は。

A

総務部長 行政施設内に設置されている什器類は、地震発生時の転倒や落下により利用者や職員の安全を損なう恐れがあるため、各施設所管課において早急に総点検を実施していく。新築や改修工事において設置された造り付け家具については、工事において壁面等に堅く固定されているが、備品購入により設置された書棚やキャビネットなどの什器類の固定の可否は、各施設所管課で判断しているのが現状。今後点検の結果、転倒防止対策が不十分な什器類が確認された際は、その大きさや設置場所、利用の状況等を踏まえ、安全確保を最優先に適切な対応を講じるよう、各施設所管課に周知する。



政友会
村上 幸雄
むらかみ ゆきお



質問項目

- 土地改良区について

※9 多面的機能支払交付金事業の活動組織への支援

笹賀地区における多面的機能支払交付金事業の活動組織は、高齢化や手続きの煩雑化などにより、活動の継続が困難と聞いている。今後も活動を継続していくため、市としてどのように取り組んでいくか。

A

産業振興部長 現在、笹賀地区では中子、上小俣、今町会の3組織が活動されているが、神戸、神戸新田、東耕地などの広大な優良農地は組織化されておらず、事務負担の煩雑さ、役員のなり手不足を理由に、多面的機能支払交付金を活用していない。そのため、現在の3組織を含め笹賀地区全体で組織化して活動することで、事務が二元化でき、負担軽減になる。また、事務委託支援補助金制度を活用し一部を外部委託することで、更なる負担軽減につながる。市としては、J A松本ハイランド、土地改良区と連携し、笹賀地区の組織化を支援していく。



政友会
こば 陽子
こば やうこ



質問項目

- 多文化共生条例制定における合意形成と実効性の確保について

多文化共生条例制定に向けた合意形成

多文化共生を不安視する市民もいるため、条例制定の前に、多様な意見の聴取や意見交換の場を持つことは有効だと考えるが、市の見解は。

A

住民自治局長 条例制定に当たっては、条例骨子案ができた段階でパブリックコメントを募集するだけでなく、条例骨子案作成の前段階で多様な意見を踏まえながら原案を作成するといった営みが不可欠だと考えている。条例検討においては、市民の中で大きな割合を占めていると考えられる「漠然とした不安を感じている方」にも参加していただく会議体を設けて対話を重ね、なぜ今、松本市に条例が必要なのかなどについても議論しながら、多くの市民の不安を解消し、納得できるような結論を見出したい。また、会議体のメンバーがそれ以外の方の声を聴き、参考にしていくような場についても検討したい。

※8 什器類 店舗やオフィスなどで日常的に使用する器具や家具、備品全般の総称

※9 多面的機能支払交付金事業 農業・農村が持つ国土保全や景観形成などの多面的機能を地域ぐるみの共同活動で維持・向上するため、国が活動組織に交付するもの



政友会
西澤 郁弥
にしざわ ふみや



質問項目

- 駐車場の渋滞について
- 記念事業について

松本駅アルプス口側の駐車場確保

Q 松本駅周辺交通ターミナル機能強化構想の中で、アルプス口側の駐車場の確保を考えているか。また、中心市街地への移動動線をどのように設計していくか。

A

交通部長 中心市街地への自動車流入を抑制するため、アルプス口側に駅周辺の目的交通の受け皿となる規模の駐車場を確保する必要があると考える。この駐車場は、単に駐車機能を担うだけではなく、パークアンドライドのためのフリンジ^{※10}駐車場として、松本駅の交通結節点機能強化に必要不可欠な役割を担うと考えている。中心市街地への移動動線については、お城口に面する道路の通過交通を極力排除し、アルプス口やえきしろ空間外縁部の駐車場で乗り換えを促すことで、まちなかをスムーズに回遊できる仕組みを構築する。構想策定を通じて、「駅とまちの接続性向上」及び「駅周辺の拠点性を高めた拠点間の回遊の創出」を具体化する。



政友会
中島 昌子
なかじま まさこ



質問項目

- 中山間地域の医療福祉政策について
- 持続可能な地域公共交通について
- 青木峠バイパス整備による地域の将来像について

交通キャッシュレス

Q Suica機能の付いた地域連携ICカード「KURURU」のサービスを開始した結果、利用率はどのようになっているか。また、アンケート等による分析は行っているか。

A

交通部長 5月末現在のキャッシュレス利用率は約70%となっている。地域連携ICカード「KURURU」導入前、2月末の約20%と比較すると、50%の向上がみられた。アンケートは、令和5年度にキャッシュレス本格運用開始以降、2回実施している。交通系ICカード導入への強い需要があり、クレジットカードの利便性が高く、好意的に評価されている。また、4月から地域連携ICカード「KURURU」のサービスを開始したため、今後もアンケート調査の実施を予定している。なお、現場の乗務員からは、キャッシュレス利用に伴う運賃精算の円滑化等により、乗降時の負担の軽減や定時運行などにつながっているとの声を聞いている。



政友会
和久井 悟
わくい さとる



質問項目

- 本市の災害対応力向上と持続可能な防災・減災体制の構築について
- 新たな官民連携手法について
- 真の共生社会実現に向けて

全庁的な「フェーズフリー」^{※11}の導入

Q 「フェーズフリー」の概念を全庁的に取り入れ、日常の中に自然と防災が溶け込む「備えない防災」を推進していくべきだと考えるが、市長の見解は。

A

市長 「フェーズフリー」という新しい防災の考え方は、本市のさまざまな施策を検討する際に踏まえる重要な視点と考える。その取組みの一つとして、昨年度、国の交付金を活用し、太陽光による充電パネル付きのポータブル電源を各地区地域づくりセンターなど40ヶ所に配備した。普段は日常業務やイベントの電源として活用し、停電時には非常用電源として役立てる、脱炭素社会の実現も見据えた取組みである。市民の皆さんにも、ローリングストック^{※12}を身近な実践として普及を図るなど、日常の中に災害時の備えを溶け込ませ、「備えない防災」を進めていく。

※10 フリンジ駐車場 都市部への自動車流入を抑制するため、その周辺に車を駐車し、公共交通や徒歩で移動するための駐車場

※11 フェーズフリー 日常時と非常時の境界をなくし、日常的に利用しているものや仕組みを災害時に役立てる防災の考え方

※12 ローリングストック 日常の暮らしの中で、食品や日用品を少し多めに買い置きし、日常生活で消費しながら備蓄していく方法



用語解説



日本共産党松本市議員
宗田 まゆみ



質問項目

- 放課後の子どもたちに新鮮な空気を
- 松本市役所庁用バスの安全な運行のため

児童センター利用者のニーズ把握

Q ランドセルを背負ったまま児童センターに行けることを望む声があるが、市としてどのように受け止めているか。また、センター利用に関して子どもたちや親の願いをどのように把握しているかを伺う。

A 子ども若者部長 ご意見は多様化する放課後のニーズや安全確保の観点からも、前向きに捉えるべきだと受け止めている。子どもや保護者の願いは、指定管理者が実施する保護者アンケートを中心に把握に努めているが、学校から児童センターに行けるようにしてほしいとの声もある。今後の調査では、指定管理者と連携し、今まで把握できていなかった利用する子どもたちの声を聞く機会を設けるなど当事者目線でのニーズ把握に努めていく。今後は、山辺地区において、ランドセルを背負ったまま利用できるモデル的運用の実施に向けた検討を進めたい。



日本共産党松本市議員
塩原 孝子



質問項目

- 誰一人取り残さない市政とは
- 共同親権の影響とひとり親家庭支援

生活応援クーポンに対する相談や苦情※13

Q 今年3月に配布された松本市生活応援クーポンについて、市に寄せられた苦情を含めた相談件数とその内容を伺う。

A 産業振興部長 問い合わせ件数は、総数で約4万件、最も多い日では1日3千400件で、1日の平均は、サポートセンターに約400件、商工課には約60件であった。問い合わせの内容は、1つ目は電子システムに関するもので、電子クーポンの取得方法や、店舗での使用方法の問い合わせ、また、ポータルサイトの登録方法に苦情があった。2つ目は、紙クーポンへの変更に関するもので、変更手続きの時期や方法、利用できる期間や店舗に関する問い合わせ、変更方法を記載した案内はがきの文字が小さくて読めないという苦情があった。3つ目は、事業の手法に関するもので、なぜ電子クーポンなのか、現金やクーポン券の配布の方がいいのではないかという内容であった。



日本共産党松本市議員
犬飼 明美



質問項目

- ゴミ行政の発展について
- 中東情勢と経済的支援について
- 文科省の指導について
- オーストリアのオブジェ受け入れについて

行政によるゴミ収集への移行に伴う業者への影響

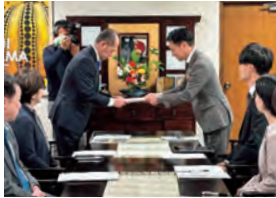
Q 集合住宅におけるごみの分別徹底を目的に指定ごみ袋の義務化を検討しているとのことだが、市の収集に移行する場合、民間業者の仕事が減り、倒産もあり得るとの声もある。対策が必要だと考えるが、市の認識と改善策は。

A 環境エネルギー部長 民間業者が行っている集合住宅ごみの収集を行政収集に移行するに当たっては、できる限り効率的な収集エリアや収集ルートになることと同時に、できる限り収集業者のなりわいへの影響が少ない方法を検討していかなければならないと考えている。その上で、行政の制度変更によって、経営への影響が大きくなるようであれば、その度合いや対応策を整理し、収集業者の皆さんと協議を行っていく。

市長へ政策提言

R8年4月15日(水)

令和7年度に各委員会で実施した調査研究について、全議員による政策討論会を経て、臥雲市長へ政策提言書を提出しました。



提言書の内容はホームページで
ご覧いただけます。

新庁舎議会施設に関する
議会報告会を開催

R8年6月25日(木)

本会議の傍聴者や議会施設の利用経験がある市民の方などを対象に、新庁舎議会施設に関する議会報告会を開催しました。これまでの検討経過を報告した後、「傍聴しやすい議会施設」や「議場の多目的利用」などを論点に、参加者の皆さんからの意見をお聞きしました。いただいたご意見は、今後の議会施設の検討に生かし、市側へ伝えていきます。



令和7年度 政務活動費の収支状況

政務活動費は、議員の調査研究などの活動に必要な経費として交付されています。

松本市では議員1人当たり年額25万円が会派（所属議員が1人の場合を含む）に交付されます。

各会派は、年度末に議長へ収支報告書を領収書の写しなどを添えて提出し、残額は市長に返還しました。収支報告は次のとおりです。

- 政務活動費の支出の一切の責任は各会派にあります。
- 収支報告書・活動報告書・領収書の写しは、議会事務局または市議会ホームページでご覧いただけます。



誠の会（7名）

中山英子、宇留賀響、土屋眞一、
今井ゆうすけ、犬飼信雄、
阿部功祐、太田更三

収入	1,750,000円
支出	1,350,239円
研究研修費	839,230円
調査旅費	429,213円
資料購入費	81,796円
残額	399,761円

政友会（7名）

こば陽子、太田正徳、和久井悟、
西澤郁弥、牛丸仁志、村上幸雄、
中島昌子

収入	1,750,000円
支出	1,178,553円
調査旅費	1,152,404円
その他の経費	26,149円
残額	571,447円

開明（5名）

菊地徹、吉村幸代、川久保文良、
上條温、芝山稔

収入	1,250,000円
支出	1,215,186円
研究研修費	456,000円
調査旅費	604,200円
資料購入費	78,067円
その他の経費	76,919円
残額	34,814円

松本市議会公明党（4名）

大久保美由紀、内田麻美、
上條美智子、近藤晴彦

収入	1,000,000円
支出	820,571円
研究研修費	277,760円
調査旅費	460,201円
資料購入費	60,000円
その他の経費	22,610円
残額	179,429円

まつも都（4名）

花村恵子、神津ゆかり、
上條一正、横内裕治

収入	1,000,000円
支出	1,000,000円
調査旅費	634,720円
資料作成費	4,820円
資料購入費	2,930円
広報費	352,448円
その他の経費	5,082円
残額	0円

日本共産党松本市議団（3名）

宗田まゆ美、塩原孝子、犬飼明美

収入	750,000円
支出	395,776円
研究研修費	192,800円
資料購入費	47,609円
広報費	140,337円
その他の経費	15,030円
残額	354,224円

訂正 前号のまつもと市議会だより213号（令和8年5月1日号）の内容に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

P7「賛否の分かれた議案など」の一覧に、下記のとおり議案第71号「松本市国民健康保険税条例の一部を改正する条例」の賛否を追加

○：賛成 ×：反対 議：議長（※議長は表決には加わりません。）

議案 番号	会派名 議員名	誠の会							政友会							開明					松本市議会 公明党				まつも都				日本共産党 松本市議団		
		中山	宇留賀	土屋	今井ゆうすけ	犬飼 信雄	阿部 功祐	太田 更三	こば 陽子	太田 正徳	和久井 悟	西澤 郁弥	牛丸 仁志	村上 幸雄	中島 昌子	菊地 徹	吉村 幸代	川久保文良	上條 温	芝山 稔	大久保美由紀	内田 麻美	上條美智子	近藤 晴彦	花村 恵子	神津ゆかり	上條 一正	横内 裕治	宗田まゆ美	塩原 孝子	犬飼 明美
		英子	響	眞一																											
71		○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×



市議会との交流を活かして行動！

～請願採択を振り返って～



大学生（左から）
あおやま 青山 愛紀さん
あわづ はら ひかる
栗津原 輝さん
ふるはた 降幡 玲央さん

松本市議会と梓川高等学校では毎年、地域課題などについて意見交換会を行っており、令和3年から交流が続いています。今回は、その交流での学びを活かし、本年2月定例会で、市役所新庁舎に市民や観光客が楽しめる展望スペースを求める請願を提出し、全会一致で採択された、当時3年生の3名に話を伺いました。

請願内容はこちらから→
(経過は前号P15に掲載)



進めることは大変でしたが、しっかりやり遂げられたことに誇りを感じています。成果を出せたことで、費やした時間も報われ、3人それぞれにとって大きな自信につながっていると思います。



請願を提出した際の様子

3人は揃って松本大学に進学。
いま振り返って思うことは？

（栗津原さん）昨年9月頃から請願提出に向けた取組みを始め、右も左も分からないなか、高校の先生方にもご協力いただき、情報収集や試行錯誤を繰り返して、この大きなプロジェクトを達成することができました。大学進学に向けた準備もあるなかで、昼休みや放課後の時間を使ってこの取組みを

何か変化はありましたか？

（青山さん）市政を気にかける機会が増えました。特に市役所新庁舎の建設に関する新たな動きがないか、市のホームページやSNSを確認するようになりました。
（降幡さん）住んでいる梓川地区の外にも目を向けるようになりました。松本という地域全体に視野が広がったと感じています。

松本市に期待することは？

（青山さん）大学に入学してから車で通学していますが、道が狭くて、渋滞も多く、自転車と一緒になったとき、危なく感じるが多々あります。道路整備をしっかりと推進してほしいです。自分でも、道路の損傷を通報できる市のLINEシステムを、もっと有効に活用したいと思っています。

これからの抱負は？

（降幡さん）今後も自分の周囲で、市に要望したいことがあるという動きが生まれたときには、請願の手順を知っているの、今回の経験を活かして、その動きをリードする立場を担えたら、と考えています。
（栗津原さん）地域社会に貢献できる人になりたいので、将来は人の役に立てる仕事に就きたいと思っています。

阿部議長が北信越市議会議長会会長、 全国市議会議長会副会長に就任



第101回北信越市議会議長会定期総会で開会のあいさつをする阿部議長（ホテルブエナビスタにて）

阿部議長が、今年4月の第101回北信越市議会議長会定期総会（松本市開催）において北信越市議会議長会会長に就任し、5月には第102回全国市議会議長会定期総会において全国市議会議長会副会長に就任しました。

令和8年9月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
8/30	8/31	9/1	2	3	4	5
	本会議（開会） 13:30～	正午 発言通告締切 17:15 請願・陳情提出期限		議案調査		
6	7	8	9	10	11	12
		本会議（一般質問）10:00～		委員会審査		
				10:00 総務・厚生	10:00 経済文教・建設環境	
13	14	15	16	17	18	19
		委員会審査		本会議（閉会） 13:30～		

●日程は変更となる場合があります。
詳細は議会事務局（34-3210）へお問い合わせください。



本会議が
視聴できます！



ライブ中継



録画配信

まつもと市議会 こどもだより 第11号を発行しました！

市内の小学5年生に学校を通じて配布しました。市議会ホームページ等でご覧いただけます！



広報部
部長 中島 昌子
副部長 宗田 まゆ美
副部長 宇留賀 響
菊地 徹
太田 正徳
大久保 美田紀
花村 恵子
吉村 幸代
今井 ゆうすけ
近藤 晴彦

令和8年度は、基本構想2030の後半5年間の政策の方向性と基本施策を示す第12次基本計画始動の年です。示された施策の進捗をチェックし、市民生活の向上に全議員が取り組む姿をお伝えしてまいります。ご覧ください。